

稲城市公共施設 LED 化事業の紹介



＜稲城市のカーボンニュートラル＞
稲城市では、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする、いわゆるカーボンニュートラルの実現を目指しています。

その取組の一環として、稲城市の公共施設46施設のLED化を令和5年度から令和7年度の間に一斉に実施しました。



＜LEDの電気使用量削減効果＞
照明を蛍光灯からLED照明に更新することで、約**40～60%**の電気使用量を削減することができるとされており、またLED照明は長寿命であることから、維持管理の負担軽減も図ることができます。ご家庭や事業所でもぜひ導入を検討してみてください。 ※照明の種類により削減効果は異なります。



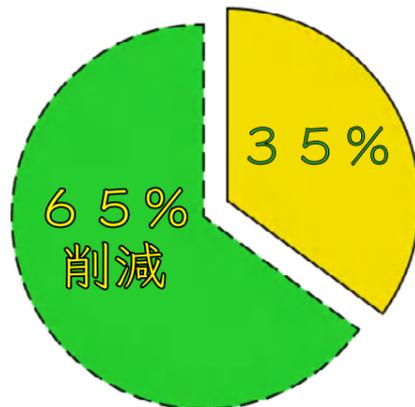
＜カーボンニュートラル推進に向けて＞
稲城市では、今後も様々な取組を通じて、市民、学校や企業のみなさまと協同して、カーボンニュートラルの実現に向けて、施策を実施してまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

＜稲城市の電気使用量のシミュレーション（参考）＞

稲城市の小中学校18校で1日5時間点灯した場合
約**65%**の電気使用量の削減効果が見込めます。

電気料金では、年間約**2,000万円**相当削減効果が期待されます。

※従来の蛍光灯の電気消費量（カタログ値）と更新後のLED（カタログ値）の電気消費量から電気使用量の削減量を計算した場合であり、実績値ではございません。
高天井灯具のみ市民への貸し出しも行っているため、1日8時間で計算しております。



LED化後の電気使用量割合

稲城市に
新たな灯りを

稲城市



LIGHT UP INAGI

日常を明るく

災害時には市民に寄り添う優しい光に

稲城市の小中学校の体育館は調光システムを導入し、避難所となった場合に夜間に光を調整できるようにしています。



～子ども達の視線を大切に～
普段大人が見ている景色と子ども達が見ている景色は異なります。
子ども達の身長や机の高さなどを考慮し、学習環境として最適な照度を学校ごとに選定しました。



～現場の声を大切に～
日頃、子ども達や保護者の声を聞く学校の先生に要望や課題をヒアリングしながらLED化を進めました。
学習室以外にもトイレや廊下、特別教室など細部までこだわりました。

心地よい空間を

施設のコンセプトと調和する灯具を選定



～手元を明るく過ごしやすい空間に～
市民のみなさまが施設を快適に利用できるよう、手元までしっかりと光が届くことを大切にしながら、それぞれの施設に適した灯具を選定しています。



～心地よく過ごせる空間に～
安心してくつろぎ、ゆったりとした時間を過ごせるよう、空間全体の明るさや雰囲気にも配慮した照明環境を整えています。